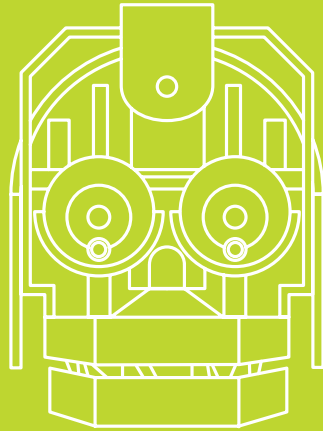


シリーズ 2

脳科学から見た社会デザイン



参加者の意見より

「脳科学から見た社会デザイン」の答えは見つかりましたか？

全3回の会議で寄せられた参加者のアンサーより抜粋

モーション。好き嫌いとお程度、操作できる。

正直わかりません

まずは医療に役立てるべき。
体を動かさない人がコミュニケーションをとる場合等にはとても便利だと思います。

感情は感情で動かさず — 思考の感染はあるか？

無意識の自分の世界を活動の有り様に役立てるべき

社会全体で作業しつづける
個人と向きに

消費の抑制

広告ほど、グラフィックアートに（社会というより
ビジュアル系...）

朝は上手な人と下り切ると乗客が上がり
下り切ると乗客が下ります。

言葉で出せないが

イメージを出せることが多い
ので、それを取り出せる
個人的に利がある。

自分を変えることと企業のマーケティング

北朝鮮 北朝鮮のテロの解決にどうするか？
できるでしょうか？

無意識の研究から、みんなが嫌だと
思っていること、ものごとをなくしてあげ
できる。それは、みんながこうなる事だ
という社会をつくる事ができるだろう。

バリアフリーと20 13年を意味で

恋愛しようじのたため

言葉にするコミュニケーションのやり取りを減らすこと

机の上の学習に 身体を伴い無意識を使う方法
をいれると、学習効率やエピソードが上がる

今の考えからある程度思考のあり方を
変える 100年以内を想定

こうしたらいいかなと思いつく、「2011年、1980年」で100年以内
両方の映像を操作して、とて「1980年」と「2011年」

ロボットをもっと進化させてほしい！

「良いこと」ばかりを動かしてはいい。そして人間には副作用
として悪いことが起こる。予測で悪いことが起こらないと
いいことを念頭に置いて、研究を進めたいと思います。

心理療法など、成長の中でも外科的治療以外に活用できる
ことと未来が来るかと思つた。自殺やストレスを見つること、
幸福度を測ること、麻薬などがとれれば困る力など

これまでわかっていた脳科学の成果が、医療が生活に役立ち始める、人間がロボット
と同居して生活するようになると思つています。

例は 世帯の住人として 100年以内

100年後の価値も100年以内の価値と価値の方向は向いていない
個性の伸びる世の中は100年以内ではない
海に単一化の方向に進んでいくと思つた。2011年以内

100年後も今の理屈が通用するかどうか
脳自身が技術を進歩するように変化するかはわからない。

行動がコントロールできない
犯罪率の増加はどの程度？

紛争の解決

医療、何分野にもあるべきで、異文化間のコミュニケーション
活発に、世帯に役立ちたいと思つている。
100年以内のことでは、文化の衝突は避けられない。
紛争はいつか必ず起こる例として考えていく必要がある。

障害者の人に役立てるべきかと思つた。
自分の行動に制限が加わっている部分を機械的に伝え
られたら便利だと思つた。

もっと地を理解できる様にしたい、争いは
避けたいのでいい。

幸せは何？ 脳で感じるものか

幸せの定義が大きい社会的望ましい社会



発行：日本科学未来館
〒135-0064 東京都東区青海 2-3-6
電話：03-3570-9151

<http://www.miraikan.jst.go.jp/>

©2011 National Museum of Emerging Science and
Innovation (Miraikan) All Rights Reserved

